

口頭発表方法について

1) パソコンのお持込について

1. 口頭発表はご自身でノートパソコンを持ち込んでのプレゼンテーションとなります。
2. パソコンにトラブルのあった場合に備えて、バックアップとして CD-ROM をご用意ください。バックアップを持参されなかったために発表が不可能となっても実行委員会は責任をとれません。
3. 発表には Windows98 以上(98、2000、Me、XP)が動作する DOS/V 機か Apple Power Macintosh をご使用ください。
4. 発表中またはその準備中にバッテリー切れとなることがあります。会場、休憩室、スライドセンタにはコンセント口を用意しておきますので、AC アダプタをご持参ください。
5. 一部のノートパソコンで外部モニター出力端子が D-sub15 ピンでないものがあります。この端子がないものは本体のみではプロジェクタにつなぐことができません。別売のアダプタが必要となりますので、必ずご用意ください。

2) 発表手順について

1. 発表の 30 分前までにスライドセンタにて出力をチェックしてください。スライドセンタにはオペレータが待機しています。
2. スライドセンタにて出力をチェックのうえ、当該セッションの始まる前の休憩時間に会場へパソコンをお持ち込みください。会場には演者席付近に係員が待機していますので、休憩時間内にプロジェクタへの接続をお申し出ください。
3. プロジェクタへの接続は係員が行いますが、発表時の操作はご自身で行ってください。
4. 一般口頭演題の発表時間は 10 分、質疑応答時間が 2 分となっております。
5. 奨励賞候補者の口頭発表時間は 12 分、質疑応答時間が 5 分となっております。
6. ミニシンポジウムにおける口頭発表時間は 20 分、質疑応答時間が 5 分となっております。
7. 当該セッション終了後の休憩時間に、パソコンを係員がプロジェクタから切り離しご返却いたしますので、演者席付近にお越しください。

3) その他

1. 一部のノートパソコンには外部モニター出力端子より出力できる解像度が VGA(640X480)に限定されている機種があります。この解像度より高い設定でスラ

イドを作成してしまうと、ノートパソコンの画面では正しく表示されても、プロジェクタで投射した画面のレイアウトが崩れてしまう恐れがあります。ですから、外部モニタ出力端子より出力できる解像度にあわせたスライド作成を行うことをお勧めします。

2. 発表中にスクリーンセイバや省電力機能で電源が切れてしまわぬように、設定の確認をお勧めします。
3. 上記トラブルなどによる時間延長は認められません。自身の発表時間内にすべて終了するように対処してください。そのためにも、パソコンの設定等取り扱いを熟知しておいてください。

ポスター発表方法について

- 1) ポスター発表は1演題につき縦210cm横90cmのボードを用意します。
- 2) ボードの左上、縦15cm横21cmのスペースには演題番号を記した紙をはりますので、このスペース以外を使用してください。
- 3) ボードには足がありませんので、ボードの下付近までポスターを貼りますと、見にくくなるおそれがあります。また隣接するボードとの間には、ほとんど隙間がありませんので、横幅90cmぎりぎりまで使用すると見にくくなるおそれがあります。
- 4) ポスター会場は24日(木)午前10時より使用できます。ポスター貼り付けは遅くとも24日(木)の午後5時までに完了してください。以後はポスター受付を終了します。
- 5) 押しピンは会場で用意しますが、数に限りがありますので、ポスター枚数が多い発表者の方は各自でご用意ください。
- 6) 今回のポスター発表では、ポスター前での口演はありません。演題番号奇数偶数の2つのセッション分けて討論のみを行ないます。各セッションは40分程度を予定しています。開始時間は24日(木)午後5時20分(奇数番号)および午後6時(偶数番号)を予定しておりますが、最終的なスケジュールはプログラムを参照にしてください。この時間帯にポスター発表への質問を受けるために演者の方はポスター前にて待機してください。
- 7) ポスター撤去は25日(金)午後3時までに完了してください。使用した押しピンはポスター受付のテーブルに返却してください。撤去されないポスターは当方にて廃棄いたします。